



●歴史通信担当 大石よりみなさんへ。

庄内の乱の真実 11月2日

南九州文化(庄内の乱(巻)

庄内の乱の真実ニ.....本村秀雄

ニ 報復処置(処罰)21.22 ページ

...1602(慶長7年)8月1日、忠恒は上洛に当たり忠真に友を命じた。

7日、鹿狩りを行った。その際、部下の二人に密命を与え、**忠真**を射殺させた。この時、平田増宗の息子、**新二郎**も主従16人が討たれた。

忠真の弟**小伝次**は義久によって国府に召され途中の浜の市で討たれた。下の弟、**三郎五郎**と**千次郎**は鹿児島城に召され、途中の谷山で討たれた。

忠棟の妻と老母は阿多の宿舎で自害させられた。

**平田増宗**は伊集院忠棟一味と言うことで入来に行く途中、鉄砲で討たれ他の**平田一族**も悉く討たれた。

忠恒の妹(忠真の妻)は島津久元に再縁させられた。以上で忠真一統は全員息の根を絶たれたことになる。

更にダメ押しで、義久の後継者候補であった垂水家**島津信久**は1637年5月毒殺された。さらにその子**新城久章**もあとで殺された。

さて、伊集院忠真に対する島津宗家の処理だが、忠恒による忠棟(幸侃)生害事件(1599年3月9日)を起こす前から伊集院家とりつづし対策は周到に策謀されていたはずである。



○幼い遺児でも男なら殺せで女まで殺して根絶やしにするという多くないと思います

本題とは外れるが、「7日には鹿狩りを行った」が目についた。鹿児島島の地名は「鹿」それも「鹿児」が多かった。「鹿児」は縦書きで、一字です。

坂東武者は馬に乗って狩りをし、肉食と運動で強健な身体をつくったと言われています。

島津は坂東武者であったと思います。 =====西山 和宏

○クマタツコメント 11月2日

島津忠恒については「庄内の乱」を中心にこれまでもいろいろ取り上げていますが、島津本宗家の総意とはいえ島津忠棟(幸侃)を殺害しました。その後起こった庄内の乱を家康の仲介で収束したものの忠棟の息子・忠真(ただかね)に対する遺恨は相当なものだったのでしょね。

狩りにかこつけて猟銃で殺害しています。島津本宗家を守るという一心がその後も忠棟・忠真に連なる一族を皆殺しにする気持ちもわからないではありませんがここまでやるとは、なにか異常な気もしないでもありません。

そのこととは少しそれるかもわかりませんが、これも一族の血を絶やさないためのことでしょうか、側室はNGと言われた「島津一族の一夫、一婦制のルール」? を破り忠恒は一説によると8人の側室と33人の子女をもうけたといひます。

これについては慶長15年(1610)家康と対面した時、自分の妻・亀寿(義久の娘)が40歳を過ぎてもう子供ができないので將軍・秀忠の次男・国松を養子にもらいうけたいと申し出たと言います。なんとという大胆な申し出だろうかと私は思います。それに対して家康は国松は將軍家の大事な跡取りだから「忠恒が側室を持てばいいじゃないか」とのたまわったとか。(笑)

家康のお墨付きをもらった忠恒はさぞ大喜びしたのでしょう。上記のようなことになったようです。

忠恒は薩摩藩の初代藩主となり、鹿児島城(鶴丸城)を造築したり、琉球へ出兵して国王・尚寧王を薩摩に連れ帰ったりしています。

領地経営の面でも太閤検地の石高を補うべく内検を断行し、また藩内の行政区画として10余の外城(のちの郷)の設定や、家中軍役規定の制定など行っています。家久は文禄4年(1595)?~寛永15年(1638)の間、藩主の地位にあったといえます。このように忠恒(家久)は大きな業績も残していますが、先に述べたように「庄内の乱」に絡む異常な程の遺恨や、側室の問題などを考えると家久がどういう人であったかにますます興味が湧いてきました。

大石くん

昨日の新聞に掲載された「モンターン」の赤塚恒久さんの記事は楽しく読みました。

クマモト タツオ

○8人の側室で33人の子供となれば誕生日がかなり接近した子もいたでしょう

重豪は、大名が借金で潰れることはないが跡継ぎがいなければ潰れると言った。

重豪は側室約15人、子供約50人確か70歳代で2人産ませているはずである

正室が後継者を誕生させるのはそう簡単ではない。=====西山 和宏 11月2日

○11月3日

黎明館で今日まで開催の表記特別展を駆け込みで見してきました。展示物の中に佐土原島津家所蔵の鎧兜がありました。森 繁

○展示の城下絵図の上町付近の中に拙宅前の上野邸が島津家家老の島津頼母宅であったことが分かりました。

森 繁



○大石です。曲がり角の喜左衛門宅？

会津藩の西郷頼母は知っていましたが島津頼母についてはよく知りません、情報があったら教えてください。

## ○ クマタツ〜

島津頼母は島津家の家老だったみたいですね。

ネットで出てきましたが、詳細はやや長い文章の中から探し出す必要があるようです。

ゆっくり見てみます。

その時代は現在の森君宅は「森有礼」に連なる家系の方の屋敷だったのですか。

現在の森くん宅周辺はさぞかし名のある方々の屋敷だったということが今更ながらわかります。

実は私も「鹿児島島の城館」の招待券をいただいたので10月29日に行ってきました。

めぐみコーラスの団員で黎明館の学芸員の一人です。堂満という方で、毎回のようにいただいています。

いずれブログに書こうと思っています。

今日も一本アップしました。

クマモト

### ○ 11月4日

私の気まぐれで明日、帖佐を訪ねることにしました。

西くんが連れて行ってくれた「花園寺跡公園」に隣接して

「島津義弘居館跡」があることを知りませんでした。

そこで、明日、その居館跡石垣や「総禅寺墓地」にある

「島津豊後守季久の墓」「島津豊後守朝久の墓」「御屋地

様の墓」などなどをまわる予定です。

ただ6km〜8kmくらいは歩く覚悟です。2〜3年前までの私の史跡巡りのスタイルです。

鹿児島中央駅8時9分発の日豊本線で行き帖佐駅8時35分着で後は全て歩きです。急に呼びかけて申し訳なく思っています。

なお、返事はいいません。行く方は駅に集まりましょう。

クマモト

### ○ 大石アンサー

いいネ。今頃は体調さえ良ければ何処でも歩きたいネ。明日は兄のところに3時に行く予定があるので残念です。

### ○ 森アンサー

残念ですが明日は朝から町内清掃作業とよかよか体操に参加するため行かれませんが、来週の火曜か金曜日だったら私の車で行ってもいいですよ。

### ○ クマタツ

森くん、ご配慮ありがとうございます。

急な呼びかけですみませんでした。

明日はとりあえず昔を思い出しながら歩いてみます。

まだまだたくさん行くところはありますから一緒に行きましょう。

○ 先ほど無事帰ってきました。



朝8時30分ごろ帖佐駅から歩き始めて先ず2.4km先の「島津義弘居館跡」(花園寺跡に隣接していました)を皮切りに12時30分にイオンにたどり着くまで約4時間、6、7ヶ所をめぐるほとんど歩き詰めでした。ちょっと道を間違えたりでしたので10km以上歩いています。いや、もっとでしょう。

八十路の体にはさすがに堪えますねえ。イオンの天ぷら屋でご飯をおかわりして食べたくらい腹ペコでした。

写真を数枚添付します。

今年中に、加治木、隼人、国分の島津関連史跡を一日まわりませんか。

島津忠真の墓も加治木にあるようです。

#### ○大石コメント

ところで映画「大綱式の恋」観に行きませんか？

素晴らしい脚力ですね。次回はお供します。

隼人は鹿児島神宮付近の古代史、隼人族、卑弥呼の謎解きなど興味がありません。

#### ○11月5日 クマツツアンサー

「行かずに良かった！！」実感ですね。

私も普通は段々調子づいて戦場カメラマンみたいになるのですが、今日はちょっと後半バテました。

帰ってから、休んで次の行動に移るとき、足が思うように動きません。

車を出してもらえるのであれば、たくさん回れますよ。

昔、一人でほとんどのところに行っていますから道案内はできます。

ただ、初めてのところはこれから地図等でしらべないといけません。

隼人塚は私が数年前に行ってから、補修をしたとか聞きました。更に良くなっていることでしょう。

○明日か明後日か10日(火)か？先に昼食して1時半から観ますか？黒岩ラーメンか、やっぱりステーキ🍖

○明日は疲れをとる休日にしたいです。

できれば10日(火)がいいですが、動けないわけではないので、明日でもOKです。クマモト

#### ○森コメント

私は明日、明後日、来週火曜日OKです。

○明日にしましょうか。クマモト

○森12時地蔵角交番前集合でどうでしょう。

○大石 明日、12時オツキヤ交番前(地蔵角ではありません)ですね。

○了解です。いつものオツキヤにしましょう。クマモト

○森 了解しました

#### ○11月6日

「大綱引きの恋」は面白かったですね。

西田聖志郎氏もあれだけの映画の企画立案から薩摩川内市との折衝など大変なことをよくやりましたね。

いや、本当に凄い男です。見直しました。また会ってみたいになりました。

昨日今日で宮崎の旅のブログ一応完結しました。

ブログにまとめると、また新たな思い出になります。

皆さんあっての楽しい旅でした。もちろん永野さんも含めてです。

クマモト タツオ

#### ○森コメント

お疲れのところご苦労様でした。

映画の方も前作の「六月灯の三姉妹」より面白かったです。

聖志郎さんも主演なみの出番の多さでしたが、プロデューサーとして県内のあらゆる事業所から寄付金を集めてまた川内市の全面協力を得てあれだけの綱引きシーンを演出できたことに感心しました。監督もこのシーンに力が入りすぎて死期を早めたのではと思われるほどでした。エンドロールで寄付した人々の氏名が流れましたが大石君の名前が出ないかと気を付けてましたがなかったです。

また主演の三浦貴大も力の入った演技で、NHK朝ドラ「エール」で早稲田の応援団長を演じた時と同じ迫力を感じました。とても百恵ちゃんの息子とは信じられませんでした。

### ○森コメント

武志と韓国人女医とが病院屋上で桜島の遠望を背景にラブシーンを演じた場所は志学館大学の屋上で撮影されたらしいです。

### ○クマタツコメント

なるほど、大学病院にしては桜島が少し近すぎると感じていました。志学館大学ならきれいに桜島も見えますね。

### ○大石コメント

郡元の墓地の上？

ところでついであったので有村眼科に白内障の検査に行きました。結果...もうしばらく1.2年大丈夫とのこと。白内障が進まない目薬をもらってきた。ちなみに視力は5年前と変わらないとのことですが実感は悪い方に進んでいる気がします。

### ○森コメント

白内障が進まない目薬が欲しいです。保険適用可？

○吉松典子さんからLINEで以下のようなトークあり。

大石

○クマタツアンサー

吉松さんのご先祖は加世田だったのですね。後で読ませてください。私の母も旧姓は桐原ですが、東郷町の出身です。

なにかツナガリがあるのかなあ。

私が聞いた話では、いつの時代かわかりませんが、先祖はあの辺りでは豪商だったと言っていました。昔のことです。

### ○ 11月8日 クマタツコメント

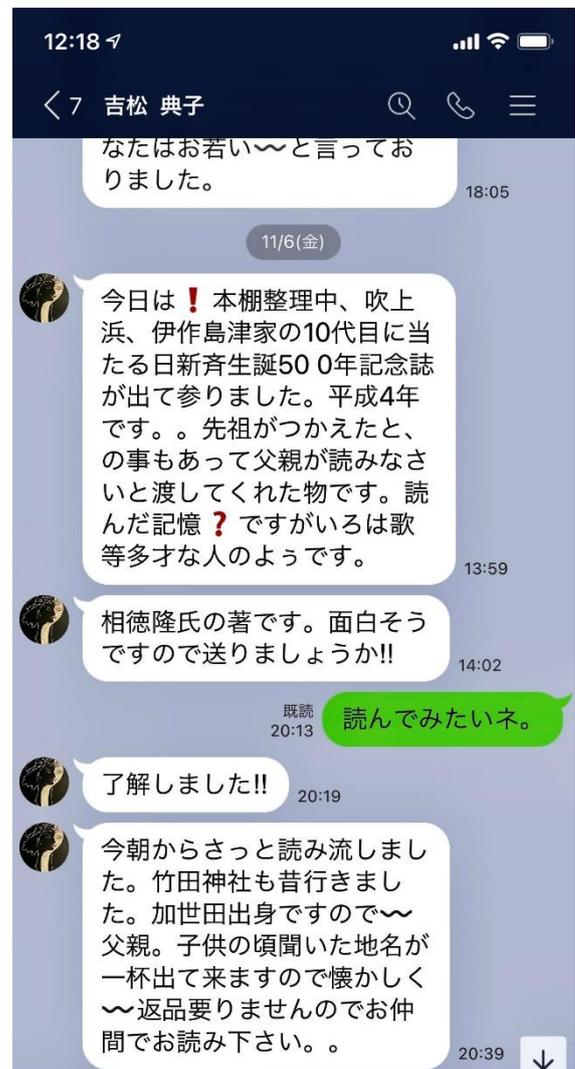
大石くんから借りた「南九州文化」（庄内の乱）をやっと読破しました。

一言でいえば大変面白かったです。

前にも書いたように島津忠恒（家久）の人間性に興味を持っていましたが、この論文の中に「忠恒は異常な性格の持主であったとも言われている。その家久から憎まれたら最後、重臣がいくら諫言しても必殺され、彼によって抹殺された有能な人は多い」とあり、やはりそうかと納得しました。

ここにもあるように伊集院忠棟（幸侃）をこの世から消し去ることが義久・義弘など島津一族の願いであったとしても、それを冷静にやり遂げた家久の評価は「よくやった」とする

のか「忠棟の嫡男忠真には義弘の娘が嫁ぎ、義弘は忠真の舅・家久と忠真は義兄弟という関係なのに伊集院一族が絶滅するまで殺したのは普通の人にはできない」とするのか、評価は分けられると思うが、家を守るためとはいえやはり異常さは感じますね。



家久については、地位に就くまではいわゆる遊び人という評価もあったそうで、それが初代薩摩藩主となることでいかなる変化を遂げていったのかますます興味が湧いてきました。 クマモト

○大石アンサー

兄の久保が早くに亡くなったのが残念ですネ。

生きていたら庄内の乱もなかった。長生きして欲しかった歴史上の人物四人のひとりです。

ぼくの選ぶ…あとの3名は斉彬・小松帯刀・龍馬。

狂人？忠恒の酷さは跡取り可能性のある垂水家の信久を毒殺、子の（新城）まで殺す異常さに驚くけど、もしかしたら側近に黒子（伊集院のような）がいたのかも（島津家の為にそうも思いたい）しれません。

○11月8日 西山コメント

「もし」とか「であったら」というなど言われても言う楽しさは、これまた 格別なものです。

私の長生きしていたらと思う人物の1人は江藤新平です。

維新を起こすことには功績はありませんが近代国家の体制を整えることでは、大変な才能がありました。彼が、もう少し存命で彼が考える法体系を整えていたらその後の日本の生き方に大きな影響を及ぼしたことでしょう。

クマタツさん

熱い血潮がたぎっている様子。

有能なら早々と殺される家康は、有能な長男を信長から殺せと言われた実の兄弟でも殺した時代に義兄弟など時として、考慮すべきたいしたことではなかったでしょう。

いずれにしても、その時代に生きたひとでなければ分からないことでしょう。

○11月9日 クマタツコメント

ずっとサボっていて家の近所を歩くのは久しぶりでしたが、買物ついでに40分くらい歩いてきました。

先日の帖佐史跡巡りの4時間歩き詰めは、あれはあれで良かったのですが、近所歩きも新鮮でした。

家久（忠恒）のことを調べようとネットサーフィンをしてみました。出てくるのは「四兄弟の末っ子・家久」のことが多くて、肝心の家久はほとんどヒットしません。いろいろな資料・史料を漁るしかないようです。書籍もほとんどありません。少しづつ調べてみたいと思っています。 クマモト

○大石コメント

そうですね江藤新平—

貴兄にいただいた海音寺潮五郎『桐野利秋』の中で登場した法務大臣（卿？）江藤新平は有能な人物だったと思います。性格が一途だったのか？自信過剰？書かれていたようです。

もっと生きていたらと惜しまれて逝った偉人の最期の状況（本人たちの心の声）を察すると何とも言えない気持ちになります。

○西山アンサー

岩倉具視が法整備について案の提出を求められた

官に対する民の権利、つまり人権の確立

民が官を訴えるための裁判所開設などに熱心であった。

当時、その才能を嫌う者は、少なからずいた。

○太石より隈元くんへ

忠恒(家久)の人間性と庄内の乱そして関ヶ原の戦い後の義久~義弘~忠恒~忠真の相関図をそれぞれの家臣団の思惑などを考慮して俯瞰すると「伊集院忠真を頭に一族抹消」の異常な行動のすべては忠恒(城主家久)の独断(こじ付けはあったらうが)と言えるのでは。のちのちの久光の代まで島津家の(黒い DNA)は続いている気がします。

## ○西山コメント

誠に複雑な争いで 簡単には 全容を理解できないほどです  
諫言しても殺される。

孔子は、信頼されていない者へ、うかつに諫言や忠告をするなど説難について述べています。

権力者への諫言は現代でも、時には身の破滅を招くものです。

黒いDNAとは、黒い闘争、駆け引き、仲間づくり、外交などに長けていたということでしょう

武力だけでは、長期政権を維持できない

福島正則や加藤清正は、早々に駆逐された。

## ○庄内の乱について 西山

幼い遺児でも男なら殺せで女まで殺して根絶やしにするという多くないと思います

本題とは外れるが、「7日には鹿狩りを行った」が目についた鹿児島の地名は「鹿」それも「鹿児」が多かった。

「鹿児」は縦書きで、一字です。

坂東武者は馬に乗って狩りをし、肉食と運動で強健な身体をつくったと言われています。

島津は坂東武者であったと思います。

## ○クマモト再コメント

島津忠恒については「庄内の乱」を中心にこれまでもいろいろ取り上げていますが、島津本宗家の総意とはいえ島津忠棟(幸侃)を殺害しました。その後起こった庄内の乱を家康の仲介で収束したものの忠棟の息子・忠真(ただぎね)に対する遺恨は相当なものだったのでしょね。

狩りにかこつけて猟銃で殺害しています。島津本宗家を守るという一心がその後も忠棟・忠真に連なる一族を皆殺しにする気持ちもわからないではありませんがここまでやるとは、なにか異常な気もしないでもありません。

そのこととは少しそれるかもわかりませんが、これも一族の血を絶やさないためのことでしょうか、側室はNGと言われた「島津一族の一夫、一婦制のルール」? を破り忠恒は一説によると8人の側室と33人の子女をもうけたといえます。これについては慶長15年(1610)家康と対面した時、自分の妻・亀寿(義久の娘)が40歳を過ぎてもう子供ができないので将軍・秀忠の次男・国松を養子にもらいうけたいと申し出たと言います。なんという大胆な申し出だろうかと私は思います。それに対して家康は国松は将軍家の大事な跡取りだから「忠恒が側室を持てばいいじゃないか」とのたまわったとか。(笑)

家康のお墨付きをもらった忠恒はさぞ大喜びしたのでしょう。上記のようなことになったようです。

忠恒は薩摩藩の初代藩主となり、鹿児島城(鶴丸城)を造築したり、琉球へ出兵して国王・尚寧王を薩摩に連れ帰ったりしています。

領地経営の面でも太閤検地の石高を補うべく内検を断行し、また藩内の行政区画として10余の外城(のちの郷)の設定や、家中軍役規定の制定など行っています。家久は文禄4年(1595)?~寛永15年(1638)の間、藩主の地位にあったといえます。

このように忠恒（家久）は大きな業績も残していますが、先に述べたように「庄内の乱」に絡む異常な程の遺恨や、側室の問題などを考えると家久がどういう人であったかにますます興味が湧いてきました。

## 〇11月9日 琉球王国、そして最近思うこと 大石

小説『天地に燦たり』を読んで琉球王国に関心を持って以来テレビを観ていると沖縄や琉球に関する番組がやたら多いのに気がつく。

昨年来、奄美群島や南西諸島（八重山など）の世界遺産登録（未登録）のニュースや昨年惜しくも焼失した沖縄のシンボル、首里城の復興計画 1 年目の記念などでマスコミ（メディア）が取り上げてのことだと思う。

NHK もさっそく 8 年前放映した『テンペスト』全 10 回の再放送を決定した。ぼくは前回のシリーズは観なかった。

主演の仲間由紀恵さんがあまり好きでなかったことや、沖縄にもさほど関心がなかった。

ところが今回は舞台が幕末（開国期の）首里城ということと『天地に燦たり』を読んだことで当時の琉球王国の置かれた事情が理解できたなど。

そして何よりもこの 3 年ほど日本史、郷土史に詳しい（熱い）八期仲間に出会えたこと。

数年前の沖縄、八重山旅行で首里城を目に焼きつけていたことなども相まって主演者も物語の主人公として我慢して観賞した。あと 1 編残しているけど。

今『テンペスト』はぼくの沖縄（琉球王国）の原風景になった。観てよかったと思っている。

ところで突然話しは変わるけど……

傘寿を境に（先の人生を考えると）自分の関心を歴史、芸術、音楽や地理などに向けたいと思う。

政治、経済、イデオロギー（主義）は無関心とまではいかないまでも、なるべくほどほどにしたい。趣味はスポーツと映画やテレビ観賞。

まだ「小さな旅」は続けていきたい。

## 〇クマタツコメント

大石くんのメールを起点にしての皆さんのそれぞれのこの歳になってからの生き方に私も考えさせられました。

最近「今日も無事終わった。もう休むよ」と夫婦で会話を交わすのが日課になっています。

「無事」というのがキーワードでしょうか。育てる中ではいろいろあった 3 人の子供たちも、それなりに落ち着いてくれて、「今が一番考え事が無くなっていい時期かもしれないね」というのも夫婦の会話に入るようになりました。でもこういう状態が、いつまで続くかはわかりません。

その日になってバタバタしないようにしなくてはと言いながら、凡人の悲しさ、多分アタフタするだろうことはわかっているつもりではあります。

水曜日と土曜日がグラウンドゴルフ、日曜日が「おじいさん合唱団」の練習。この二つが最低の 1 週間の行事です。自分で決めてやることは、不定期ですが「ウォーキング」（昨日は買物にかこつけて 35 分、今日は気が向いて 40 分歩きました）

ブログの更新が 2、3 日置きで今年は昨日までで 90 回書きました。

その取材・下調（大げさ）も楽しみの一つですが、最近は大石くん・森くん・永野さんたちと一緒にいくことが多くなりました。最近車のない私は大助かりです。単独行は先日久しぶりでしたが、現在ブログで進行中の「帖佐の史跡巡り」でした。

その他、大石くんや森くんとメールのやりとりの中で、「おじいさんのランチ会」をやったり、映画を見に行ったり（先日は薩摩川内市が舞台の「大綱引きの恋」を見ました。）「歴史講演会」を聴きに行ったり八期の友達との交流がかけがえのないものになっています。

いつまでもこういう日々が続くことを願っています。

○慶二さんとみなさんの熱心さには感服です

私はNHK放映の『テンペスト』を知りません

『テンペスト』と言えば、

シェクスピアの『テンペスト』で出てくるフレーズ brave new world.

素晴らしい新世界=====西山 和宏

○本田哲郎コメント

大石 慶二 様

貴兄の言われた先のレポートの中での、下記の貴兄の「持論」、全く、自分も同感であります。

「傘寿を境に(先の人生を考えると)自分の関心を歴史、芸術、音楽や地理などに向けたいと思う。

政治、経済、イデオロギー(主義)は無関心とまではいかないまでも、なるべくほどほどにしたい。趣味はスポーツと映画やテレビ観賞。

まだ「小さな旅」は続けていきたい。」

ほんとに、学校は違いますが、貴兄のこの「持論」を聴いて、自分の現在の「心境」とほとんど「同一である」事に、ビックリです。

ほんとに「我が意を得たり」という心境です。

お互いに、この歳になるとやはり、自己本位になることは、自分も「その通り！！」と思います。

今までは、自分の性格でしょうか？、やはり、社会的事案(政治・経済など)が一番関心がありました。

この歳になって、自分が置かれた「後先」の事を考えると、やはり目前の自分本位の処世術が一番「妥当な考え方」になると思います。

貴兄と違うことを取って申せば、自分が今住んでいる所が田舎であることで、「映画」を観る機会がほとんどなくなっていることで、

その点では貴兄と若干、「趣味」は異なります。

趣味の所で、自分は音楽では、川島成道(ヴァイオリニスト)の「おじさんの追っかけ」(彼と知り合って約 20 数年ほど、今も彼の鹿児島後援会を立ち上げて、自主公演やレストラン・コンサートなどを開催)をやっている事と、「オペラの鑑賞」講座を鹿児島国際大学の松原武実先生の好意で、今も「自主講座」として 17 年間も継続して、「オペラキチガイ仲間」と共に、毎週 1 回 90 分授業を受講している事でしょうか？

大石さんに「完全的」に劣ることは、「八期会」などを主宰されて、毎月、欠かさずそのレポートを作成されて、「玉龍の同期生のリーダーである」事、

これは、素晴らしいリーダー・シップぶりである事で、誰もできる事ではありません。 敬服しています。

今後も、隈元、古市兄など共に、「郷土史」の研鑽などには大いに励んでゆきましょう！！

付け加えるとすれば、小生は今、「満身創痍」の状況にあり、あと幾ばくかの「はかない人生」である事を自覚しており、これがいつまで持つやらが、皆様と異なる「最大の難関」である事です。

お互いに、この歳では、「自分本位」の姿勢で、「生甲斐」を楽しみましょう！！

2020, 11, 10、

みみずく生、本田 哲郎

○この歳になるとそれぞれが。それぞれの場所でそれぞれの過ごし方をしているものと思われ  
七十にして矩をこえず と言われるようにあれから10年を経て、「自分本位の処世術」で  
よろしいのではないのでしょうか？

私の楽しみは、区が高齢者サービスとして低額で行っている

月1~2回の「マッサージ」と「流通業界での新しいことの発見」です。

いろいろなマッサージ師に施術をしてもらいますが非常に効くものと、なでるだけの感じのものがありま  
す。長年、首の横筋が痛かったのですが、あるときに担当して下さったマッサージ師がそれは神経痛で  
すと言われ、一発で治してくださいました

高齢のマッサージ師が多いですが、その腕力と持続力に感心させられます。

=====

西山 和宏

○11月11日クマタツコメント

大石くんのメールを起点にしての皆さんのそれぞれのこの歳になってからの生き方に私も考えさせられました。

最近「今日も無事終わった。もう休むよ」と夫婦で会話を交わすのが日課になっています。

「無事」というのがキーワードでしょうか。育てる中ではいろいろあった3人の子供たちも、それなりに落ち着いてくれて、  
「今が一番考え事が無くなっていい時期かもしれないね」というのも夫婦の会話に入るようになりました。でもこういう状態  
が、いつまで続くかはわかりません。

その日になってバタバタしないようにしなくてはと言いながら、凡人の悲しさ、多分アタフタするだろうことはわかっている  
つもりではあります。

水曜日と土曜日がグラウンドゴルフ、日曜日が「おじいさん合唱団」の練習。この二つが最低の1週間の行事です。  
自分で決めてやることは、不定期ですが「ウォーキング」(昨日は買物にかこつけて35分、今日は気が向いて40分歩  
きました)

ブログの更新が2、3日置きで今年は昨日までで90回書きました。

その取材・下調(大げさ)べも楽しみの一つですが、最近は大石くん・森くん・永野さんたちと一緒に行くことが多くなりまし  
た。最近車のない私は大助かりです。単独行は先日久しぶりでしたが、現在ブログで進行中の「帖佐の史跡巡り」でし  
た。

その他、大石くんや森くんとメールのやりとりの中で、「おじいさんのランチ会」をやったり、映画を見に行ったり(先日は薩  
摩川内市が舞台の「大綱引きの恋」を見ました。)  
「歴史講演会」を聴きに行ったり八期の友達との交流がかけがえのないものになっています。

いつまでもこういう日々が続くことを願っています。

○大石アンサー 11月10日

本田様

いつもながら真心のこもったお返事ありがとうございます

また生き方に共鳴いただき嬉しいです。

しかし、又ひとつ新たな発見しました。本田さんのアウトドアの趣味(ゴルフにヘラブナ釣り)は納得でしたが、音楽そ  
れもオペラ好き、それもただひとりで観る聴くだけでなく同好会まで作って活動とは驚きでした。

80歳をすぎればはた目の「元気人」と「気になる人」の差は無いに等しいのではと思います。ちょっと「引かかる」  
とあつという間に行ってしまう。そんな危険な「まさか!コーナー」にお互いさしかかっています。

そのうち古市さんが帰って来たらお会いして音楽談義でもしたいですね。

ちなみにぼくの車中の音楽はジャズです♪クラシックはベートーヴェン(今年は生誕??年)です。ビデオに録ってひとり  
いる時大音響で聴いています。

○西山コメント

みなさん いろいろな趣味をお持ちで結構なこと  
です

オペラにジャズ、いいですね

パリでトスカ Opéra Bastille:、Sister Act 天使にラ  
ブソング

プリンストン大学の劇場でクリスマスキャロル  
ブロードウェイでは、42nd Street セリフが分かり  
やすく楽しめました。

ジャズは、ニューオリンズのプリザベーションホー  
ルに2回

メンフィスのビービーキングの店（マンハッタンにもあ  
る）、

そして、渋谷のキーボードなどウエスタンが好きで  
ダラスでは、牧場のバーベキューパーティで  
ウエスタンバンドでフォークダンスを楽しみました。



○大石より古市くんへ

大久保関係どうぞ。、島津～日向を旅しました。～本田様に紹介された。YouTube 八期をご覧ください。

○大石くんの配信で古市さんも喜ばれたことでしょう。

鹿児島に「西南之役恩讐を越えての会」というものがあるのは初めて知  
りました。

それにしても、特に鹿児島の人間にとっては「大久保・西郷問題」は永遠  
の課題のような気がします。

大久保家と西郷家の子孫が結婚をしたという事実もあるくらいですから、  
案外両家の間にはもうわだかまりはないと思うのですが・・・。

クマモト タツオ

○11月12日 クマタツコメント

大石くんありがとう。

聖志郎さんも喜んでくれてよかったです。

前にも書いたと思いますが、彼の凄さを今回改めて知りました。

鹿児島を代表する演劇人になりましたね。

あれだけのスケールのものを企画立案し、人集めから薩摩川内市を中  
心に鹿児島の人々の共感と協力を得て、完成させるエネルギーには驚  
きました。今後も郷土愛で次々にヒットを飛ばして欲しいですね。

○12日 南郷善之助発

隈元君の今の生き方と言うか

残りの人生をしつかり見つめて過ごしているなあと思い素晴らしい  
生活を送っているなあと思い尊敬しています。かねてから大石君を初

22:36

西田聖志郎  
オンライン: 1分前



22:18

映画観ました。とてもよかつ  
たです。  
同期（玉龍八期）の隈元くん  
（息子さんが若い頃、聖志郎  
さんの劇団員とか？）他と行  
って来ました。30名ほどの  
LINE仲間に是非観に行くよう  
PRしておきました。

22:34

ご無沙汰しています。  
ご覧いただきありがとうございます  
です。  
また、お仲間の皆さんに宣伝  
して頂き、重ねて御礼申し上  
げます。  
全国公開は来年5月です。今  
後ともよろしく願っています。

ダブルタップで❤️

め森君や西山くんたちの文を読ませてもらっていますが共通の趣味や残りの人生をしつかりみつめて生きているのが素晴らしいね、僕等残りの人生を余り深く考えもせず毎日過ごしているものに者にとつては恥ずかしい限りですねえ、これからも皆さんのやりたとりを読ませてもらいながら自分の残りの人生を考えさせてもらいたいと思っています

## ○クマタツアンサー

南郷善ちゃんのメッセージを読んで恥ずかしい限りです。

私ほど行き当たりバッタリで生きてきた男はいないと思っています。

たまたま人から見れば現在は少しだけ落ち着いているように見えるかも知れませんが、昔から男が一生を架けると言われた仕事にしても30歳近くで転職し、その後独立までするという無鉄砲な生き方をしてきました。今考えると、博打みたいなことです。

一事が万事そのようなことで、まあ、憑いていたとしか思えない人生です。現在も落ち着きのないバタバタした毎日をおくっていますよ。クマモト

## ○西山コメント

クマタツさんの文章を読んで思ったのですが・・・・・・・・・・

私は40歳の誕生日直前に、会社を首にしました、つまり辞めました。

首にしたというのは、在社中に会社としてやるべきことを

進めようとしても、楽なことには賛成するが、努力することからは逃げる上司が多かった。

そんな会社は、こちらからまとめて首にしてやるという気分で退職届を出しました。

退職の1年前から社外協力会社の協力を得て、輸出用の試作機を開発し、職翌月、ドイツとフィンランドへ売り込みに行きました

輸出計画は、開発とん挫で消えました。

退職前から行っていた流通業界向けの原稿書きと講演で生計をたてることになりました。

その後、米国流通業界研修ツアーの講師を務め訪問先の大学で、英語で1時間の講演も何回かしました。

これらは、意図したものというよりもクマタツさんの言う行き当たりばったり、よく言えば、与えられた目の前のテーマにやれば何とかなるだろう、なんとしかしなければ、と気分で傍から見れば気楽に、やってきました。

今、思うことは、定年がない、どこで止めたらいいのか定年 or 停年は、クマタツさんや大石さんにもないかもしれません。

大石さんは、中国との交流の大きな絆を構築し維持しているこれにも停年はなさそう。

憑いていると意識的にクマタツさんには、運が憑いているブログとコーラスに憑りつかれて、これも停年はなさそう。  
=====西山 和宏

## ○11月14日

森くんの奥様が発病?? 帯状疱疹..

心配しています。

めまいは良くなりましたか?

帯状疱疹ならまだいいですが原因不明は検査がきついのでは?

それにも増して男炊事係に洗濯・掃除🔪 考えただけでもゾッとします。買い物と片付けは経験ありますが。

-大石慶二 keiji oishi

○皆さんのお気遣いありがとうございます。家内の病状は耳ヘルペス（帯状疱疹）と診断されています。おもな症状は眩暈と食欲不振です。和枝さんによると医療センターは最先端の医療を実施されているので安心してと言われました。しかし今月いっぱいはいかかるのではと覚悟しています。今日は前から稲荷神社に予約していた家の先祖祭りの日だったので

○森さん 14日

メールによると大変な量一人でこなしていますがたいじょうぶですか!?

。お母さんのことしながらグランドゴルフ

。家の御先祖の祭神

。奥さんの看病 医師を信じてください…キット良い方向に結果をだしてくださいます^o^

地形的には皆上町地区足場はよさそうですね？ 張り切りすぎても…と思いますが

森さんなら頑張れそうです。元気を出してガンバレ

永野和枝

○15日 永留くんより

おはようございます！

「訃報」のご連絡ありがとうございました。

同級生の訃報は、本当に淋しいですね。

先日の木村さん宅での「退院の集い」ように友達同士、元気で語り、笑い合うことの楽しさを改めて思い出しました。

皆さんへの会報や訃報等の、ご連絡 貴兄の細かいお気遣いに感謝致します。

年末に向かいますが、コロナ、風邪等に気を付けてお過ごし下さい。

○15日 本田様より

大石 慶二 様

早速の、ご案内、ありがとうございました。

すぐに、鮎川印刷様に電話しましたところ、在庫が少々あるとのことで、来週には加世田に赴き、入手できることになりました。

お陰様で、当地の事も記載があるようなので、読めること、楽しみにしています。

昨日はいつもの東市来の山奥の鹿丸湖（棚田用のダム湖）に、早朝（午前6時前のまだ暗いうちに）からヘラ釣りに出かけて、なんと、ここの「池」では初めてのことでしたが、ダブル（同時に2匹の大きなヘラ、約35cmほど）が釣れて、ビックリしました。

なかなか釣れない池ですが、このような「珍事」に出くわして、「幸せな一日」でした。

また、12月3日には薩摩川内市での歴史講演が予定されており、今、その資料づくりに忙殺されています。

さらに、みみずく会（鶴丸高校同期会のホーム・ページで約19年前に自分も管理人のひとりとなって発足、現在まで続行していますが、この度、今までの管理者が辞任したことで、今後、また小生が管理人に指名され、このホーム・ページの管理人としても、再度就任することになりました。

出来たら、これも時々、覗いて見てください。

[mimizuku.org](http://mimizuku.org) 鹿児島県立鶴丸高等学校第9回卒業生 同期会ホーム・ページ

満身創痍乍ら、何とか「楽しい毎日」であればと願っています。

2020, 11, 14, 本田 哲郎

○ 大石アンサー よかったですね。

話しは違いますが加世田の鮎川印刷の社長さんの奥さんは確か美保子さん(旧姓松久保さん)と思います。もしチャンスがあったら聞いてみてください。私の美容室(美千代美容室)で結婚まで働いてくれました。(ちょっと懐かしい)

○こんなゴートーキャンペーン情報如何でしょう?ご一緒しませんか? 大石

Go To トラベル事業支援対象  
当コースは **7000円** が適用されています!  
さらに 最大で使える **3,000円** の地域共通クーポン付!

Go To トラベル キャンペーン 給付金利用後  
お支払い実額 (大人一人) **2万円** → **1.3万円** の地域共通クーポン付!

2020年8月29日開通!!  
知られざる秘島 甕島  
はじめての甕島  
甕大橋を渡る

行きたい旅、見つける。トラピックス  
0570-089-007  
099-226-0878 / 099-239-3277

○夫婦で参加したい。

12月は20日までと、1月はいつでもいいですね。

壱岐対馬もキャンセル待ちのところ、OKが来ましたが、県外(博多駅・空港など利用)であることと、宿泊2日なのでコロナ第3波を考えて今回はキャンセルを入れます。 クマモト

○空いた日に5名(3名は確定)で予約してもらえますか?手金(予約金)が要れば別ですけど。 大石

○大石くん

遅くなって申し訳ありません。

1月も出足がよくて8日~3席 11日~9席 12日~4席の空きがあります。

我が家で昨夜、息子にも話をしたところ、1月頃は一番コロナが危ないのではという話になり息子の勤務先から家族を含めてできるだけ自重してくれとのこともあって、今回は残念ながら私たちはパスすることにしました。

コースを精密な地図で調べてみると甕島のほぼ全てを回る様なコースであり、申し分のない旅になるようです。

今なら上記のような空きもあるようですので、予約すれば OK だと思います。

ただ、予約したらすぐに振込表などが送ってくるので概数での予約は難しいと思います。

クマモト タツオ

○大石です。

了解いたしました。

このプランは日中役員プラス留学生とも話題を共有しています。(数名での下見コースとして)。

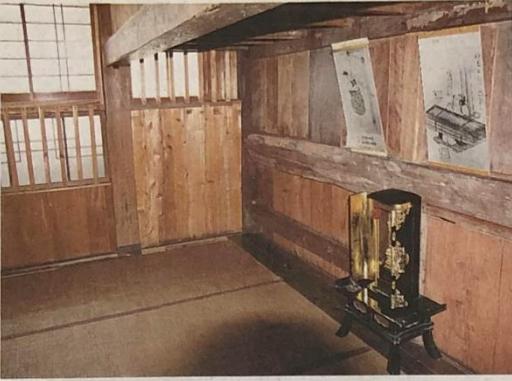
その会合が21日にあるのでそちらで検討してみます。

確かにコロナ禍その第三波襲来は1.2月の感じがします。

『禍』の去るのを待ちましょう!

○11月16日

久しぶりに出水街道ものが新聞掲載されました。続きますね。.....大石



## 出水筋⑫

かごしま  
街道見聞記

桐野 作人

[12]

旧薩摩藩領では江戸時代を通じて、一向宗(浄土真宗)の禁制が厳しく、ときには激しく弾圧されたことは知られている。信仰を捨てない一向宗の門徒たちがひそかに集まって念仏を唱えた「かくれ念仏洞」が各地に存在する。肥薩国境の出水郡の場合は少

# 国境越え門徒「抜参り」

し様相が違った。肥後側は一向宗が禁制ではなかったため、出水の門徒たちは国境の間道や抜け道を通じて、水俣の一向宗寺院である源光寺や西念寺に参拝した。これを抜参りという。

源光寺には、出水からやってきた門徒たちのために、本堂の仏壇裏の床下に秘密の部屋を設けた。そこは「薩摩部屋」と呼ばれ、門徒たちは念仏を唱えるだけでなく、寝起きもした。彼らが使ったという木枕も残されている。

天草・島原の乱を経験した徳川幕府は厳しいキリシタン禁制を国是として宗門改改を行なった。薩摩藩ではそれに加えて、一向宗も禁制にする宗門手札改が厳重に行われた。手札とは木札に名前や宗旨を記したもので、藩内の武士や庶民を問わず

るとその身はむろん、親類縁者にまで累が及ぶ」と申し渡したところ、何と千七百余人余も名乗り出たという。さっそく「胸誓」の誓詞が行われた。だが、表向き転宗しても、その後も信仰を捨てないでいる門徒も少なくなかった。

出水の役人たちは一向宗の取り締まりに苦心した。隠横目という、摘発のための目付五人が任命されている。郷土三名と町人二人だった。ほかにも一向宗訴人といって、一向宗から転じた者に門徒を密告させた。また走込改といって、門徒

の嫌疑がある者に役人が踏み込んで探索したりした。

「税所文書」には隠横目が越境する門徒の間道で見張ったり、水俣の西念寺に門徒を装って潜り込み、出水から多数の門徒が集まっているのを内偵して上役に報告したことが記されている。

出水の「税所文書」に興味深い記事がある。元文五(1740)年、宗門改を行ったところ、一向宗の門徒が数百人もいることが判明したので、役人たちが驚いた。

出水郷の地頭はほかにも残党がいるだろうと考え、「みずから名乗り出れば、憐れをもつて咎め立てしない、万一隠している

一向宗の門徒たちが国境を越えて参拝した源光寺の「薩摩部屋」

|| 水俣市

|| 隔週月曜日付に掲載 (歴史作家)

○信仰者の信念も取り締まり側の執念も純情ではありません  
記事中に「五年に一回の札改....」とあり駅の「改札口」はこの言葉から起こったものかと思つた。  
一向宗が禁制されるようになった理由は明確ではないと言われているようです。

1. 秀吉が薩摩征伐に来た時、獅子島の門徒が近道を教えた
2. 伊集院幸侃の謀反人たちに一向門徒が多かった
3. 福昌寺開山石屋真梁が南北両朝合体のときの勲功に対して一向宗禁制の勅許を得た

などの説が、いずれも確たる証拠はないと言われている。  
いずれにしても一向一揆など権力に命がけて抵抗する者たちへの取り締まりは峻烈を極めた。

=====西山 和宏

○大石アンサー・・・単純だけども一向宗取り締まりに伊集院忠棟と一族郎党が絡んでいるのは間違いありません。その前に、一向宗取り締まりの「建前論」をぼくは知りません。宗教禁制には権力側がもっともらしい理由がありますから。大石

○遠藤周作原作の映画「沈黙」を思い出します。  
あの映画ではキリスト教徒への激しい弾圧を描いていますが、今日の記事では、旧薩摩藩領での一向宗(浄土真宗)への弾圧がそれにも勝るような激しいものがあつたことがわかります。



○11月20日

島津氏の研究に一石を投じている新進気鋭(私がそう思っているだけかも知れませんが)の新名一仁氏が「義久・義弘の生涯」について執筆中との話は嬉しいニュースですね。間もなく出版されるでしょうから楽しみに待っています。

東郷平八郎元帥ゆかりのイチョウが時を経て鹿児島に帰ってくるというのも嬉しいニュースです。

島津氏が初めて鹿児島市の拠点とした東福寺城のあった多賀山は清水町に移り住んだ中学2年から22歳で鹿児島を出るまではそこがどういうところとも知らず、悪友たちと遊んだ場所であり、42歳で鹿児島に帰ってきた約40年前からは少し鹿児島の歴史をかじる中で何回となく訪れた場所です。

訪れる度に「東郷元帥」の銅像と墓標の前を通り、「本日天気晴朗なれど波高し」「皇国の興廃この一戦にあり、各員一層奮励努力せよ」などの名文句などを思い出しながら心の引き締まる思いをしたものです。

イチョウの木が多賀山でうまく根付くことを祈るばかりです。           クマモト タツオ

○西山コメント

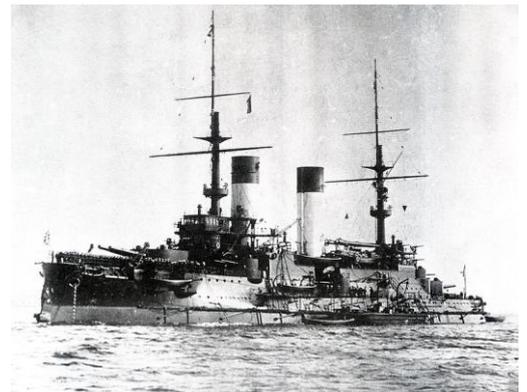
多賀山は、大竜小学校たしか2年のとき、遠足でもないのに先生に引率されて行き、銅像前の階段に座って話を聞いた眺めの良い場所という印象がある。

日露戦争近しという、ヨーロッパに留学していた鈴木貫太郎はロシアの造船所を訪れた。案内してくれたマカロフ中将は新しくできた軍艦があるからと「スワロフ」を案内してくれた。

艦の後部に行くと広々とした部屋があり、冬になったらここでダンスをすると説明を受けた。

貫太郎には、その意味がにわかには解せなかった。

軍艦の部屋の配分は大変難しいものでこれだけの部屋をダンシングルームにするにはどこか防御を犠牲にしているに違いない日本海軍では考えられない。



「ロシア艦隊恐れるに足らず」と思ったといわれている。

東郷さんは、英国に通学したくて大久保さんに頼んだらお前はおしゃべりだから駄目だと言われた。

そこで西郷さんに頼んだら、あぁいいよと留学させてくれた西南の役の時には、英国に留学中で参戦できなかつた。

歴史書はステレオタイプでよいと思う。

一般に思われていることを全面的に否定する「なにになには間違っていた」という類の物よりも、

ステレオタイプでも、違った角度から見たものならよいと思う。

そもそも歴史に新発見などそんなにあるものではない。

本当は、あるはずがない。でも観方、考え方はいろいろあってもよいと思う。

宮城谷昌光は、「こちらが正しく、あちらは正しくない」という見方は偏見で、「両方とも正しい」あるいは「両方とも正しくない」という見方をしなければ本当の歴史は見えないということに、ある年齢に達したと気がつきましたと言っている。歴史小説の書き手になるのは難しい。

実際、歴史小説の書き手は少ないと言っています。

時代小説の書き手は多い。

=====西山 和宏

○: 薩摩ヒストリー2点      隈元コメント



アップしての反響に驚きました。

コメントも読んでみてください。アクセス数がこれまで一日の最高の1638ありました。

今日もこの時間でもう1300台に乗りました。<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/>

○拝読し、コメントも残した。

仙巖園、本当に良い場所にありますね風水でも最高でしょう。

=====西山 和宏

○大石より

日新公と出水実久との加世田別府城の攻防(実久はなかなかの強武士ですね。日新公 12 年の攻防 58 ページ目まで読み終わりました。

いつか貴兄にあの辺を案内されててほんとうによかった。本田さんに案内されたあの一日はぼくにとってこの時期の記載を読むたび宝になっています。

いつかまた第二回目の訪問をしたいですね。

この本、意外とためになります。読み終わったらお貸しします。

本田さんは出版社に残りがあつたので買うそうです。

○なかなか面白そうですね。

私は2012年2月24日に「別府城」を訪れたことをブログに書いています。

先日の竹田神社からは道路を挟んで反対側にあります。今、読み返しても内容は薄いですが、上記の本を読んでさらに加筆できればと思っています。クマモト <https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/201202240000/>

○ぜひぜひ加筆したらいいと思います。

今度古市くんが帰ったら別府城行きましょう。

○又、訃報のお知らせです。

6組の西野紀代子さんが亡くなりました。

しばらく療養を続けていました。

1年前は八期 LINE に素敵な花をいつもいっぱい飾ってくれました。

○穏やかな 旅立ちの様子が

少しは慰めになったでしょうか

ご冥福をお祈り申し上げます

=====西山 和宏

○お花の先生の西野さんですか。

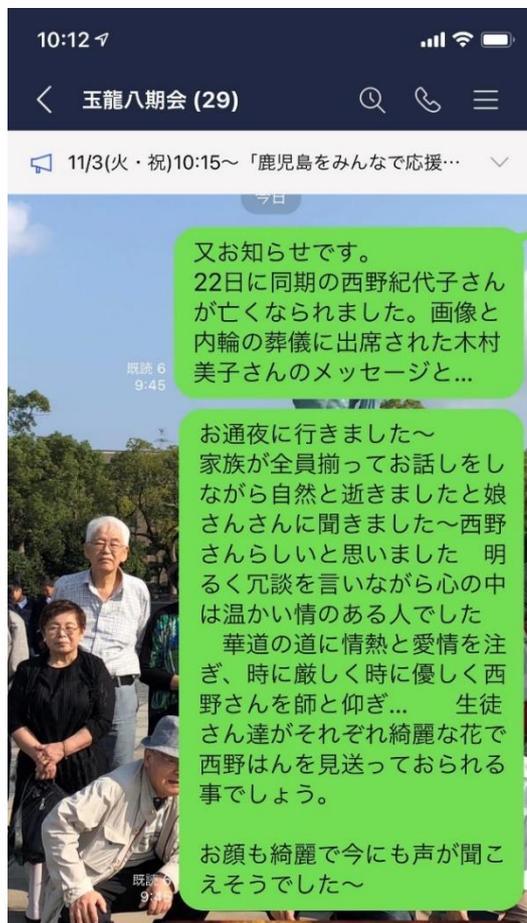
また一人という厳しい現実ですね。

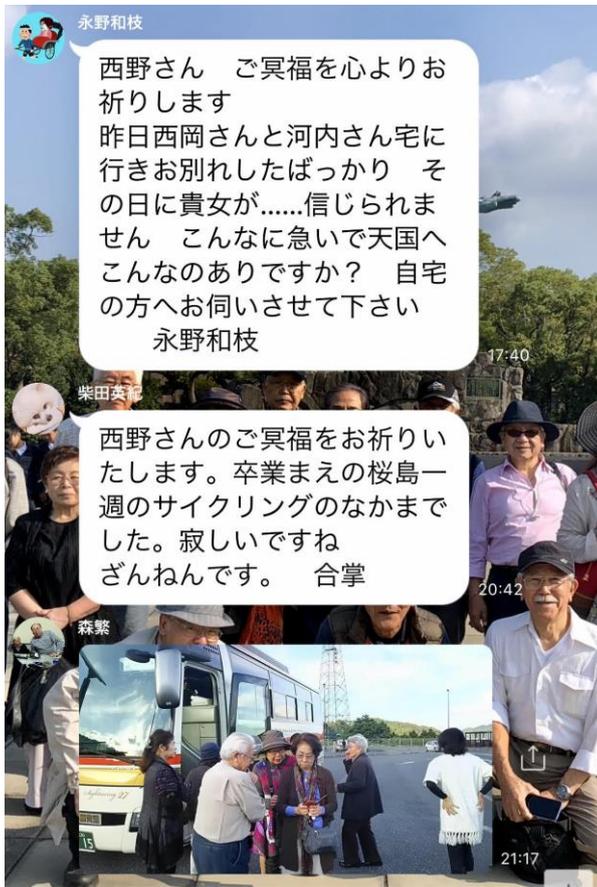
心よりお悔やみ申し上げます。

隈元 達雄

右、親友の木村さんからの投稿 LINE を添付します。

大石慶二





○大石さん・・・連絡いただきました。

西野さんのご冥福をお祈り申し上げますと思います。合掌  
木場 祥雄

○南郷の本田さんからのメッセージです。

隈元 達雄、大石 慶二、西山 和男、古市 庄八郎、永野 和江 様方へ

先日、は隈元様へ、突然の電話、しかも旅先のえびの市から発信しまして、すみませんでした。  
というますのは、前日の 22 日〔日は佐土原町の「鶴松館」〔歴史資料館〕前の広場で、「豊久の祭り」がありまして、その日は早朝から日置市を出発して、夫婦で佐土原町に一日滞在しておりました。

イベントの内容は、屋外の広場で、日置市の「火縄銃鉄砲隊」の実演演技などの披露のほか、地元の皆さんの史跡探訪にガイドを務めた大戸さんのギターによる、「豊久賛歌」の歌などの披露もありました。

さらに、その近くの「交流センター」では志學館大学講師の新名一仁先生（最近売り出しの島津関連の歴史家）の「豊久トークショー」（島津豊久の生涯や戦国武将としての生き方の、基本的な理解を深める意味での解説）がありました。

その時、先生の最新の出版本である「上井寛兼日記」（現代語訳板）も、初版本としてテントで先生の署名入りで販売されていました。

それに加えて、その隣のテントでは 2014 年に、出版された小俣麦穂（本名、小俣知美）著の「豊久の女（「メ）」（熱烈な豊久ファンが高じて、当時、文庫本 5 巻からなる自費出版本）を、この度、加筆改訂を行い、今回は上下 2 巻に収めての

改訂版（上下各 1 冊 2,000 円）も、新しく、はじめて販売していました。

小生も、両方とも取得できました。

実は、最初の文庫本 5 巻からなる自費出版本については、発行前から、彼女は度々、岐阜県上石津町や佐土原、さら

小生らの永吉地区等を頻りに訪れ、大変な努力を傾注して取材して、若い女性の立場から、「豊久を慕う女」を描き切り、それも

小説の言葉使いも鹿児島弁を駆使しての物語の展開で、自費出版分が好評で、ほんとに完売されました。

小生も彼女の作品にほれ込み、その時は、70人以上の方々に販売できました。

今回は、改訂版ということで、新たに2冊にまとめたの、再度の出版であります。

彼女は長野県松本市在住ですが、講談社の新人作家懸賞小説にも応募して、見事「佳作」になって、既に2冊ほどの講談社からの小説「さっ太の黒い子馬」「ピアノを聴かせて」なども、出版されています。

当日は、終了が夕刻になることはわかっていましたので、老人であることで、その夜は霧島温泉のホテルを予約してましたので、

佐土原から霧島温泉泊りでした。

翌日、今まで永吉島津家ばかりに集中していた傾向があり、4兄弟でも島津義弘が若い頃活躍した、木崎ヶ原合戦や飯野城、加久藤城址などがえびの市周辺にあることを思い出し、訪ねてみようと思った次第です。

そこで、先だって、隈元さんがはじめお仲間の皆さんが探訪されたことで、この周辺の詳細について、**隈元さんに現地から電話した次第です。**

えびの市に足を踏み入れるのははじめてでありました。

最初に歴史民族資料館に行き、そこで学芸員の方にイロイロ情報を聞いた後、これらの史跡などを回りました。

ただ、アチコチで感じる事は、地元の**自分らが意識する島津義弘公のイメージと、こちらの方々の反応ぶりには相当の「落差」がある事をいつも意識していますが、ここでも、そのような感触を覚えました。**

その後は、今春、我々の先祖の一部の方々が、佐土原城は島津豊久が関ヶ原合戦後の島津軍の鹿児島帰還に関しての「敵中突破」の取行で、

徳川家臣団(井伊、松平、福島家など)と「捨て妊り戦法」などを用いて、島津豊久が戦死したことで、一時、徳川側から「召し上げられました」が、

その時、豊久の家臣団の落ち着き先として永吉へ向かったのですが、途中の小林市堤地区には120家族がその途中で、ここに落ち着き、

佐土原からの武士集団が明治時代までは一集落を形成していることで、ここにその顕彰碑があることが分かり、なんの説明文や案内版なども

なかったのが、昨年来、小生らが小林市役所教育委員会などと交渉して、その顕彰碑の前に「案内版」を設置しました。

その設置については、何度も小林市を訪れたりして交渉にあたりましたが、今春の設置工事を行った時は、小生は現地に立ち会っていなかったのが、ちょうど良い機会であり、今回、また案内板を確認しながら、現地へ赴きました。豊久公の家臣団による「飛び地」となっているという事です。

今後は、島津豊久関連の史跡がまたひとつ増えたかな？と思う事でした。

その後、本日〔26日〕は、永吉地区の隣の吉利地区公民館主催の歴史研究会で、昨年「戦国島津」をメインテーマに取り組んでいて、小生も発表者であり、受講生ですが、過ってこれらの方々を永吉の島津関連史蹟〔天昌寺跡、梅天寺跡、六地藏塔、南郷城址などを案内したもありましたが、今日は国分、始良、重富地区の、主に島津義久、義弘関連の史跡をマイクロバスに乗って、見学・探訪に回ってきました。

富隈]城跡、国分舞鶴城跡、島津義久の墓、帖佐城跡[義弘の城)総禅寺跡(豊州島津家墓地)、紹隆寺[重富島津家墓地)、平松城跡(豊州]島津家の城)などでありました。

島津 4 兄弟の活躍の場を、それぞれ見てきましたが、あまり長くなりましたので、この辺で、一応、終わりにします。

何せ、小生など、まだまだ知らない史跡や彼らの武将たちの生き様を直に触れていないことがあまりにも多い事の勉強不足を意識した、それぞれの「小さな旅」ではありました。

これからも、更なる探訪などに励みたいものです。

この研究会では、来月は、出水地区、1月は加世田・金峰地区の史跡を訪れる予定です。

グドグド、書きました、 よろしく、ご判読ください。

2020、11、26、

本田 哲郎、

○本田 哲郎様

先日はお電話いただきありがとうございました。

何より嬉しかったのは、腰の不調を訴えておられた本田さんが元気に奥様ともども宮崎、鹿児島と史跡巡りをされるまでに体調が回復されたことでした。

しかもいつもの精力的に動かれる本田さんが復活された様子が窺えることです。

宮崎の佐土原はさぞかし大盛り上がりだったのでしょうかね。大戸さが得意のギターで歌われたとのこと、目に浮かぶようです。

永吉島津家から踏み出して島津家全体の史跡を巡られることは大きな意義があると思います。

今日の本田さんのメールで私もまた大きなヒントをいただきました。

見たり読んだり史跡を巡ったりすることが多くまだまだボケるわけにはいきませんね。

がんばりましょう。

隈元 達雄

○大石コメント

本田さんをご同行したかったナ……。

何より新名一仁氏の講演会聴きたかったです。

上井覚兼日記欲しいですね。Amazon で見つけましょう。

今は『日新公生誕五百年記念誌』と『謎の大王 継体天皇』など読んでいます。

年が明け、コロナ禍が収まりましたら又仲間と「小さな歴史旅」続けたいです。

○皆様のお楽しみの様子 羨望しきりです。

歴史は、昔と現代の対話と言いますが……

未来にも続くかもしれません。

駅伝のようなもので、語り継がれ新しい解釈が生まれ、新しい教訓を得られることでしょう。

島津 800 年が、連綿と継承されたことが長い歴史もたらしたものと思います。

徳川でも、たかだか 300 年足らずです。

=====西山 和宏

○